

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

事業所名: 児童発達支援 青葉区医師会 放課後等デイサービス な  
のはな

対象人数(保護者)10人 回答者数 10人 回収 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8			2	利用人数や児の特性に応じて、1Fと2Fフロアとを使い分けている。安全面を考慮し、生活場面に応じた区別をしています。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1			医療的ケア児が多い為、基準より多い人員配置にしている。利用人数に対してスタッフが基準以下になる事は無く対応している。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10				衣・食・排泄・居住に必要なスペース区分して、児の一日のスケジュールにも配慮しながら清潔で衛生的、安全な空間作りを提供している。児発児にも解り易く絵や時計、音等で情報伝達している。絵カードを利用し、児にも事前説明を心がけている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				居室は清潔で使いやすく過ごせる様に検討しています。リハビリには、機能訓練室を設けている。
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10				専門職による支援として、専門支援実施計画に基づき5領域のうち特定領域に重点を置いた支援を行っている。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10				支援内容は、ずれが生じない様に見直されている。
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	10				個別支援計画の主な目的は、利用者の生活の質(QOL)向上と自己実現の支援にあります。個別化された支援を提供し目標を明確化し、情報共有と連携しながら計画的なサービスが提供している。
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			1	支援内容が具体的なものになるように、アセスメントやモニタリングを行い計画、実行されています。
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10				計画は児童発達支援管理責任者が作成し、活動プログラムを立案し、カンファレンスを通してチーム全体で実施している。
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7			3	児の特性を生かし一人一人に配慮する。スタッフ全体で同様の関わりで対応出来るように気付きノート利用等で情報共有している。
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5			5	今年度は、近隣のチャイルドルームや保育園の園庭開放等に、積極的に参加している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10				契約時や必要な時に適切に行い、保護者にはご理解とご協力とともに常にSNSにて情報共有させて頂いています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				モニタリングのみならず、必要時は計画書を示しながら内容を説明し、作成して終わりではなく、子どもの成長に合わせて見直しも行き、必要に応じて変更、説明する等配慮している。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7				3 ご家族も参加できる研修会などは、今後特に計画はしていないが、年1回行われるアンケートなど頂いた結果やご意見は積極的に業務改善につなげている。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10				HUGとMCSなどのツールを通じて保護者様と連絡を取り合い、週2回カンファレンスを実施しスタッフ全員と共通理解している。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2			今後も保護者会や電話・メール・家庭訪問等を通じて家庭療育の様子などを把握し、保護者への助言・支援につなげていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10				保護者様の意見意向を共感的姿勢で受け入れ、スタッフ全員カンファレンスにて周知しています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1			3 年1回、保護者様やきょうだい児とも交流し、イベントにも積極的に参加して頂き、各ご家庭同士、悩み事や心配事などを打ち明ける場として保護者会に参加・交流していただいています。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10				年1回、家庭連携を強化し家庭訪問を通じて家庭療育、介護の窓口にしていきたい。HUGやメールで家庭からの相談や申し入れに対して適切かつ迅速に対応しています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1			保護者様から、健康状態や日々の療育上の悩み事を伺い、迅速な支援を心掛けています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10				年4回、なのはな通信、インスタグラム等SNSで日々の様子や連携体制の情報などアンケートや自己評価の結果を発信し、保護者会の参加を頂いています。HUGやMCSの利用をすすめています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				個人情報取り扱いについては、研修(年1回)実施。肖像権の取り扱いについても配慮している。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10				毎年、各マニュアルの見直し修正を行いスタッフ間で常に更新した内容を共有している。万一事象が起きた場合には事前シュミレーションを通して迅速に対応できるよう保護者に周知、説明をいたします。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8				2 年2回防災訓練。うち1回は消防署の立ち合いのもと実施しています。また、様々な状況を想定した訓練も実施しています。日頃の危機管理の意識付けとして医療ケアマニュアルの作成、見直しを行っています。日頃の危機管理の意識付け。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				安心安全を第一に環境整備を重視し、予防的に対応している。居室、浴室スペースや乗車中、移乗に関わるすべてに安全第一に配慮している。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8				2 スタッフ一同でヒヤリハットの報告件数をあげて振り返る事で、大きな事故につながる予防策を講じている。万一の場合は速やかに対応、保護者様へ説明する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	10				子供達の笑顔を引き出す努力と工夫に尽力いたします。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9		1		0歳～18歳の長い期間お預かりさせて頂き、お子様の成長発達に貢献できますこともうれしく思うとともに、責任を感じています。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	10				今後とも、事業所の運営にご理解いただき、ご協力を感謝いたします。